

64 ヒバリシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Calidris subminuta

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道と四国では旅鳥、本州と九州では旅鳥または冬鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に4-5月と9-10月に記録があるが、個体数は少ない。水田、休耕田、沼地、埋立地など草の生えた内陸の湿地に生息する。泥地を歩きながら甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、明石市、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、南あわじ市、(淡路市)、(加東市)、たつの市、稲美町



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
古くから県南部では単独か数羽の群れが記録されている。主要な生息地が消滅した現在でも観察されるが個体数は少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田は本種の貴重な採餌場となっている。



写真提供:但馬野鳥の会